「言語聴覚士のための

　　　　会話による高次脳機能障害の評価とアプローチ―CBAを用いて―」 in 赤羽

認知関連行動アセスメント（CBA）を評価するために、会話がとても重要です。

会話は「感情」と「記憶」に直接働きかけ、「病識」を向上させることができます。

CBAの視点を身につけ、会話による高次脳機能障害の評価とアプローチを学びます。

実施のリハ動画・音声を用いて、ST臨床を考えます。

日時：平成30年11月3日（土）10:00～16:00

場所：赤羽リハビリテーション病院（都営三田線本蓮沼駅徒歩6分）

講師：森田秋子（鵜飼リハビリテーション病院）、他

対象：言語聴覚士、CBAを使用したことのある人

定員：30名

参加費：5000円

内容：①CBAの理解

②会話からCBAを評価する

③会話を用いて高次脳機能障害にアプローチする

　　　申し込み方法：

　　　　以下のアドレスに

「CBAと会話講習会in赤羽、参加希望」とメールしてください。

　　　　　　　①氏名、②所属施設、③職種、④経験年数、⑤連絡先、を明記してください。

　　　　　　　　連絡先は、連絡可能なアドレスとしてください。

　　　　　　　　申し込みをいただいた後、こちらから連絡いたします。

　　　　　　　　　　　　　申し込みアドレス　cbaninchikanren@gmail.com